

## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月12日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社 スーパー大栄  
 コード番号 9819 URL <http://www.superdaiei.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 中山 勝彦  
 (氏名) 阪本 博美

TEL 093-602-2770

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	18,399	△6.2	127	271.0	110	756.0	75	—
24年3月期第3四半期	19,611	△6.2	34	—	12	—	△76	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	10.54	—
24年3月期第3四半期	△10.58	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	10,652	3,338	31.3
24年3月期	10,872	3,275	30.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,338百万円 24年3月期 3,275百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,200	△1.4	140	166.8	100	324.8	100	—	13.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	7,200,000 株	24年3月期	7,200,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	5,806 株	24年3月期	3,866 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	7,195,497 株	24年3月期3Q	7,196,959 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
4. 補足情報 .....	7
業績の推移 .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や民間設備投資の増加を背景に国内景気は緩やかに回復の兆しが見られたものの、海外景気の減速や欧州の債務危機問題、さらには長びく円高や株式市場の低迷などにより先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社は、経営の効率化と収益力のアップに力点を置き構造改革を進めてまいりました。

特に、当社で中核的な事業部である生鮮ディスカウントのフレッシュ8事業部につきましては、今後も積極的に店舗展開し、業容の拡大を図っていく方針であります。既存店舗の「岡垣店」と「本城店」については他社との複合店舗でもあり、消費者やテナントのニーズに応えるため、平成24年6月より、日曜、祝日とも営業日に変更し営業日数の増加を図りました。その結果、集客力及び売上高とも増加いたしました。

また、SM事業部につきましては、小型店舗で老朽化が激しく再投資しても投資効果が期待出来ない不採算店の「春の町店」、「小石店」、「桂川店」、「老松店」、「明治町店」につきましては、中長期的な店舗戦略と収益力の改善を図るため、第1四半期中に閉鎖いたしました。

これからも、小売業界は、中央の大手スーパーや地場スーパーに限らず、消費者の囲い込みを図るための商品戦略や低価格路線は益々激しくなるものと思われ、デフレ経済からの脱却は長びくものと予測されます。

当社ではこのような経済環境を勘案し、当事業年度につきましては、投資を最小限に抑え、徹底した経費削減と無駄の排除でローコスト経営に着手いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は18,399百万円(前年同四半期比6.2%減)、営業利益は127百万円(前年同四半期比271.0%増)、経常利益は110百万円(前年同四半期比756.0%増)、四半期純利益は法人税等調整額27百万円の計上等により75百万円(前年同四半期は76百万円の四半期純損失)となりました。

なお、事業部門別売上高は次のとおりであります。

事業部門	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		前年同四半期増減率(%)
	(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		
	売上高(百万円)	構成比(%)	売上高(百万円)	構成比(%)	
小売業					
生鮮食品	10,962	55.9	10,444	56.8	△4.7
一般食品	6,600	33.6	6,056	32.9	△8.2
日用雑貨	658	3.4	612	3.3	△7.0
その他	1,141	5.8	1,072	5.8	△6.0
計	19,363	98.7	18,186	98.8	△6.1
その他の事業	247	1.3	213	1.2	△13.9
合計	19,611	100.0	18,399	100.0	△6.2

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第3四半期末の総資産は、前期末比219百万円減少し、10,652百万円となりました。

流動資産は、前期末比118百万円増加し、2,371百万円となりました。これは、現金及び預金が56百万円、商品が71百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前期末比338百万円減少し、8,281百万円となりました。これは、固定資産の減価償却費が246百万円となったことに加え、投資その他の資産が107百万円減少したことなどによります。

流動負債は、前期末比186百万円減少し、5,034百万円となりました。これは、買掛金が447百万円増加したものの、短期借入金が600百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前期末比96百万円減少し、2,279百万円となりました。これは、その他の固定負債が64百万円減少したことなどによります。

純資産は、前期末比63百万円増加し、3,338百万円となりました。これは、四半期純利益75百万円の計上などによります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は概ね計画どおり推移しているため、平成24年5月18日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,384,266	1,441,203
売掛金	5,393	7,219
商品	720,226	791,509
その他	142,679	131,300
流動資産合計	2,252,565	2,371,233
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,340,267	3,206,177
土地	3,282,026	3,282,026
その他(純額)	654,730	566,712
有形固定資産合計	7,277,024	7,054,917
無形固定資産	144,931	135,632
投資その他の資産	1,198,141	1,091,025
固定資産合計	8,620,098	8,281,575
資産合計	10,872,664	10,652,809
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,014,972	2,462,410
短期借入金	1,800,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	624,000	598,000
未払法人税等	28,349	21,514
賞与引当金	34,000	8,000
ポイント引当金	11,790	10,554
店舗閉鎖損失引当金	9,905	5,463
その他	697,344	728,163
流動負債合計	5,220,362	5,034,105
固定負債		
長期借入金	1,117,000	1,123,000
退職給付引当金	705,329	681,584
役員退職慰労引当金	115,575	100,783
その他	438,690	374,387
固定負債合計	2,376,595	2,279,755
負債合計	7,596,957	7,313,861

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,667,108	1,667,108
資本剰余金	1,697,019	1,617,919
利益剰余金	△79,100	75,907
自己株式	△981	△1,291
株主資本合計	3,284,045	3,359,643
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,338	△20,695
評価・換算差額等合計	△8,338	△20,695
純資産合計	3,275,707	3,338,947
負債純資産合計	10,872,664	10,652,809

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	19,611,487	18,399,554
売上原価	15,446,037	14,540,791
売上総利益	4,165,450	3,858,762
営業収入	266,973	291,354
営業総利益	4,432,424	4,150,117
販売費及び一般管理費	4,397,983	4,022,333
営業利益	34,440	127,783
営業外収益		
受取利息	3,186	2,835
受取配当金	6,247	5,267
違約金収入	—	3,300
その他	11,944	10,554
営業外収益合計	21,378	21,957
営業外費用		
支払利息	41,678	37,899
その他	1,198	1,054
営業外費用合計	42,876	38,954
経常利益	12,942	110,786
特別利益		
固定資産売却益	—	5,229
投資有価証券売却益	—	7,336
受取保険金	274	1,011
特別利益合計	274	13,578
特別損失		
固定資産除却損	29,231	3,004
投資有価証券評価損	399	453
その他	2,283	890
特別損失合計	31,915	4,349
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△18,697	120,015
法人税、住民税及び事業税	14,652	17,004
法人税等調整額	42,848	27,103
法人税等合計	57,501	44,108
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△76,199	75,907



(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

業績の推移

(百万円未満切捨て、%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	22,808	—	293	—	258	—	155	—
22年3月期第3四半期	22,061	△3.3	142	△51.5	117	△54.6	△56	—
23年3月期第3四半期	20,898	△5.3	△34	—	△63	—	△67	—
24年3月期第3四半期	19,611	△6.2	34	—	12	—	△76	—
25年3月期第3四半期 (当第3四半期)	18,399	△6.2	127	271.0	110	756.0	75	—
	4期連続減収		2期連続増益		2期連続増益		4期ぶり四半期純利益	

(注) 平成21年3月期第1四半期より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用し、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しているため、平成21年3月期第3四半期については、前年同四半期との比較数値は記載しておりません。